

再度お知らせします！

新型インフルエンザワクチン 接種費用の助成を拡大します！

新型インフルエンザワクチンの接種が始まっています

優先接種対象者（下表参照）で生活保護世帯及び市民税非課税世帯の方についての費用助成は11月号の広報でお知らせしましたが、更に市独自で、満1歳から小学校6年生までの幼児・児童を対象に、1回目ワクチン接種費用の3,600円を助成することになりました。

市独自の助成制度です！
お子さん（満1歳から小学6年生）の新型ワクチンの接種費用を助成します！



【市独自助成分】として追加！

- A以外の満1歳から小学校6年生

1回目：3,600円

1回目の3,600円を助成します。申請方法は次ページを参照してください。注) 2回目は自己負担となります。

【広報11月号でお知らせ分】

- 生活保護世帯の方
- 市民税非課税世帯の方

1回目：3,600円

2回目：2,550円

合計：6,150円

2回分の全額を助成いたします。申請方法は次ページを参照してください。

◆どんな人が、どんな理由で優先して接種を受けられるの？

対象者		理由	
優先接種対象者	1 医療従事者【インフルエンザ患者の診療に従事する者】	インフルエンザ患者から感染するリスクが高い。また、業務量の増大が懸念され、医療体制に支障を来すおそれがある。	⇒ 必要な医療体制を維持するために接種が必要
	2 妊婦	他の者と比較し、新型インフルエンザに罹患し重症化や死亡する割合が高い。	⇒ 死亡者や重傷者を減らすため接種が必要
	3 基礎疾患を有する者(*1)		
	4 1歳～小学校3年生		
	5 1歳未満の乳児の保護者など(*2)	※1歳未満の乳児は、予防接種の効果が小さい(または接種できない者がいる)ため、保護者などが優先接種対象者となる。	
その他	小学校4～6年生 中学生・高校生相当	発症者の半数以上が10代の若年層。発症者数が多いため相対的に重傷者が多数発生する恐れがある。	⇒ 死亡者や重傷者を減らすため接種が望ましい
	高齢者(65歳以上)	今後患者数が増加した場合、重症化や死亡する高齢者が多数発生する恐れがある。	

*1 基礎疾患の分類は以下のとおりです。(詳しくは主治医にご相談ください)

- 慢性呼吸器疾患(気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患)
- 慢性心疾患(心不全・狭心症など)
- 慢性腎疾患(透析患者等)
- 慢性肝疾患(肝硬変)
- 神経疾患・神経筋疾患(多発性硬化症・パーキンソン病など)
- 血液疾患(白血病・悪性リンパ腫など)
- 糖尿病
- 疾患や治療に伴う免疫抑制状態(悪性腫瘍・関節リウマチなど)
- 小児科領域の慢性疾患(原則、小児慢性特定疾患受給者証を有している方)

*2 優先接種対象者のうち、身体上の理由により予防接種が受けられない者の保護者なども含まれます。

新型インフルエンザについて

新型インフルエンザワクチン 接種費助成の申請方法について

I 優先接種対象者で、生活保護世帯 及び市民税非課税世帯の方 **(A)**

- ① 基礎疾患を有する方は、かかりつけ医などの医療機関で、**優先接種対象者であることの証明書**の交付を受ける。
 - ② ①の証明書（基礎疾患のない方は不要）と保険証、印鑑を保健課へ持参し、**接種費用助成証明書**を受け取る。
 - ③ 医療機関にワクチン接種の予約を電話などで行なう。
 - ④ 必要書類（①②の他は下記の提示書類リストを参照）を持参し、予約した医療機関で医師と相談し納得の上、接種する。
 - ⑤ 2回目が必要な方は2回目の予約
- ※1回目2回目ともに**接種医療機関の窓口での支払いはありません。**

★接種費用は全国一律

- 2回で合計 6,150円
 - 1回目 3,600円 2回目 2,550円
- ※2回目を1回目と別の医療機関で受ける場合は3,600円。助成対象の方は、なるべく同じ医療機関で受けてください。

II I以外（市民税課税世帯）の満1 歳から小学校6年生までの方 **(B)**

- ① 医療機関にワクチン接種の予約を電話などで行なう。
 - ② 被保険者証（住所・氏名・年齢・学年の確認ができるもの）を持参し、医師と相談し納得の上、接種する。（1回目は3,600円を助成のため無料）
 - ③ 2回目が必要な方は2回目の予約を行い、1回目から7日間以上間隔を置いて2回目の接種（実費2,550円）
- ※窓口での**助成対象となる接種医療機関は、5ページ一覧表の医療機関です。**

III 助成対象者 **(A)か(B)** で、すでに ワクチン接種を済ませてしまった 方や5ページ一覧表以外の接種受 託医療機関で接種を受ける方

- 次の書類を持参し、22年3月末までに保健課（保健福祉センター）へ申請してください。助成金を支払います。
- ① 接種したことが証明できるもの（医療機関発行の接種証明書又は、母子健康手帳）
 - ② 申請者名義の振込み銀行口座のわかるもの（ゆうちよ銀行を除く）
 - ③ 印鑑
- ※支払い方法は、交付決定後に銀行口座に振り込みとなります。

◆提示書類リスト

※印鑑・保険証などは必ずお持ちください



対象者	提示書類
①基礎疾患を有する人	「優先接種対象者証明書」※かかりつけ医が接種する場合は不要
②妊婦	「母子健康手帳」
③1歳から小学校3年生	「母子健康手帳」又は「各種健康保険被保険者証」
④1歳未満の乳児の保護者	「母子健康手帳」と「各種健康保険被保険者証」
⑤優先対象者の内、身体上の理由で接種できない者の保護者など	「優先接種対象者証明書」と「各種健康保険被保険者証」
⑥小学校4年生から高校生相当年齢	「各種健康保険被保険者証」や「学生証」
⑦65歳以上の方	「各種健康保険被保険者証」や「運転免許証」



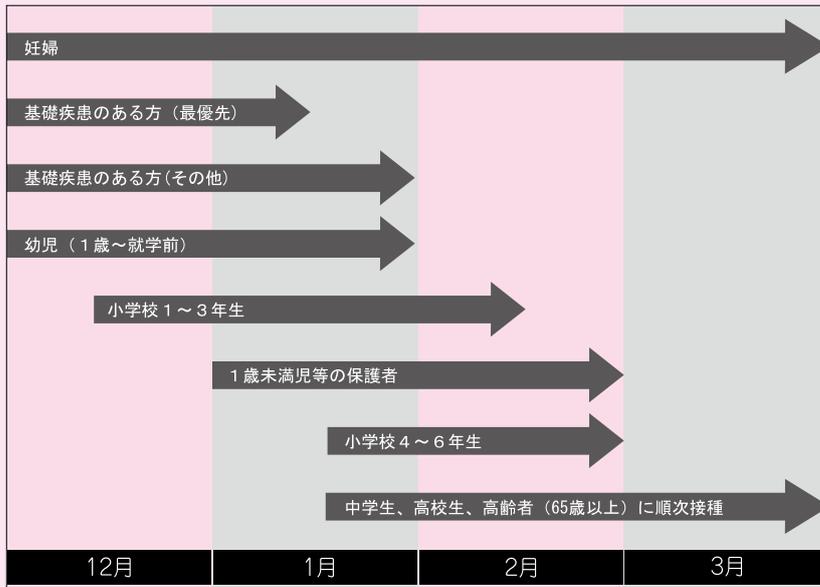
再度お知らせします！

新型インフルエンザワクチン接種 スケジュールの目安

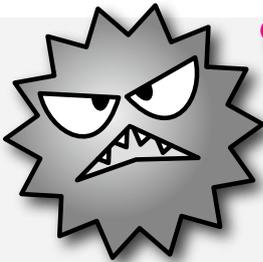
※ワクチンの流通量によって、
変わる可能性があります。



接種
スケ
ジュ
ール



ワクチン接種までの流れ



市民のみなさんは、対象者であるか、接種時期はいつかを確認し、希望する方は接種を行っている医療機関で、必ず予約してから接種してください。（市内医療機関は次ページ一覧表を参照）

①スケジュールと接種場所の確認

優先接種対象者に該当する方は、かかりつけ医などの医療機関に電話などで問合せ、具体的スケジュールと接種できる医療機関の場所を確認します。

②提示書類の用意

自分がスケジュールに合った対象者であることを示す書類などを用意（3ページの提示書類リストを参照）します。

③接種の予約

接種を実施する医療機関に電話などで予約をします。



④接種の実施

ワクチン接種後には、部位が腫れるなど反応が出るかもしれませんが、ほとんどは軽い一過性の症状でおさまりますが気になる症状が出たり、長引く場合は医師に連絡するようにしてください。

◆ワクチンの接種回数について（11月11日厚生労働省決定内容）

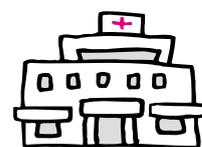
満1歳から小学6年生まで	⇒ 2回
妊婦・1歳未満の乳児の保護者など	⇒ 1回
基礎疾患（持病）のある方	⇒ 1回（医師の判断で2回の場合有）
65歳以上の高齢者	⇒ 1回
中学生・高校生	⇒ 当面2回（※12月中に決定予定）

新型インフルエンザについて

◆新型インフルエンザワクチン接種受託医療機関一覧表

No.	受託医療機関名	所在地（住所）	電話番号
1	秋山脳外科	大草町若尾1330	22-8881
2	いいのクリニック	本町二丁目14-15	23-1296
3	きっかわ整形外科クリニック	若宮二丁目8-18	30-4141
4	にこにこクリニックこでら小児科	竜岡町下条南割1045	23-6677
5	たのくらクリニック	藤井町南下条338	21-3030
6	飯野産婦人科医院	本町二丁目14-12	22-1074
7	寺本医院	本町二丁目7-9	22-0549
8	中込医院	旭町上条北割1038	22-0474
9	にらさき泉野内科小児科クリニック	岩下1232	22-1181
10	韮崎市立病院	本町三丁目5-3	22-1221
11	韮崎相互病院	本町一丁目16-2	22-2521
12	韮崎東ヶ丘病院	穂坂町宮久保1216	22-0087
13	野口外科胃腸科	中田町中条1433	25-5015
14	本町クリニック	本町二丁目19-3	22-8741
15	藤森耳鼻咽喉科医院	藤井町南下条180-1	23-1411
16	ますやま整形外科クリニック	藤井町南下条395	21-2100
17	三井医院	本町一丁目11-8	22-0845

⑧



新型インフルエンザ Q&A

Q 新型インフルエンザの特徴は？

A 感染力は強いのですが、多くの感染者は軽症のまま回復しており、治療薬（タミフル・リレンザ）が有効です。ただし、基礎疾患のある方や妊婦さん、お子さんについては重症化する可能性があり、注意が必要です。

Q ワクチン接種に効果はあるの？

A 今回の新型インフルエンザワクチンには、発症、重症化、死亡を抑えるには一定の効果が期待されます。ただ、感染を防ぐ効果は証明されておらず、接種したからといって感染しない訳ではありません。

Q ワクチンの安全性はだいじょうぶ？

A ワクチン接種は、多くの方に重症化予防というメリットをもたらしますが、接種後、腫れたり、発熱の症状が出たり、まれに重篤な症状を引き起こす可能性もあります。国内産ワクチンの安全性は、従来の季節性インフルエンザワクチンと同程度です。輸入ワクチンに関しては、海外で承認されていることを前提として、安全性を確認後、実際の接種を始めます。

Q 季節性インフルエンザワクチンは、新型インフルエンザにも効果があるの？

A 季節性インフルエンザのワクチンは今回の新型インフルエンザウイルスに対しては「有効ではない」と考えられています。

Q ワクチンの効果はどのくらい持続するの？

A これまでの季節性インフルエンザワクチンでは、予防効果が期待できるのは接種後2週から5カ月程度と考えられており、新型インフルエンザワクチンでも同程度の期間と考えられます。

新型インフルエンザの情報について

新型インフルエンザの状況は、刻々と変化しています。厚労省や市のホームページ、テレビ、新聞などで、最新の情報確認を心がけてくださるようお願いいたします。

